

# 福島町健康づくり推進計画策定にあたっての 基礎資料

平成19年7月

町民課



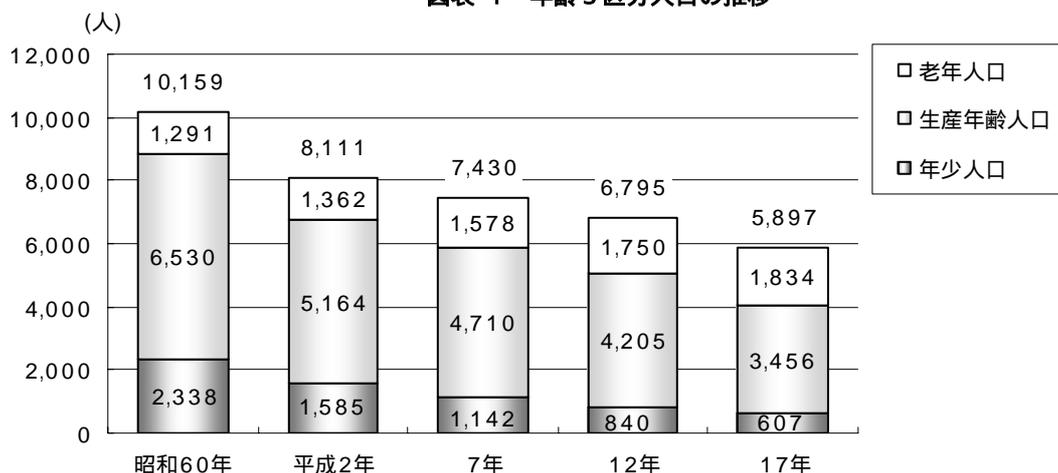
## 目次

1 年齢3区分人口の推移	2
2 人口動態の推移	3
3 年齢別死亡数	4
4 主要な死因	4
5 老人医療費	8
6 要介護者数の推移	9
7 健康診査・がん検診の状況	10
別表	10

## 1 年齢3区分人口の推移

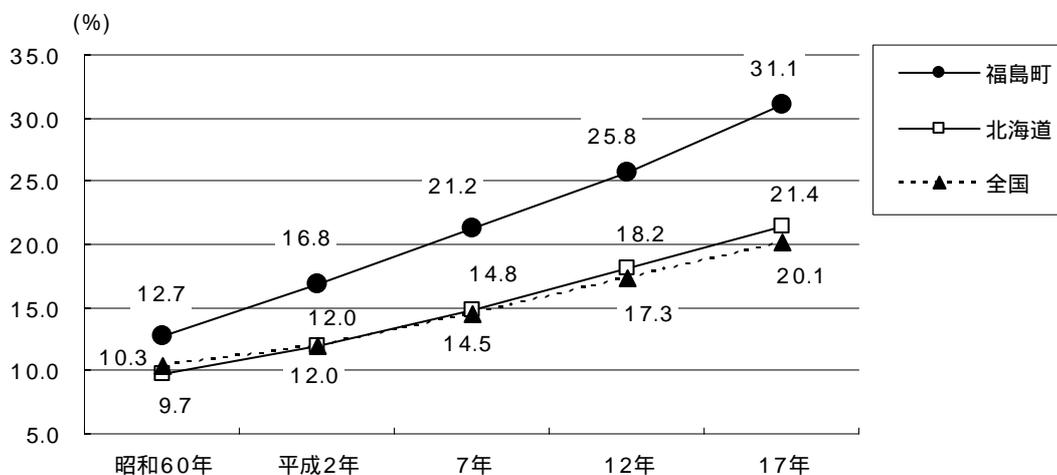
昭和60年で10,159人であった総人口は、平成17年では5,897人と一貫して減少しています。内訳では年少人口は23.0%から10.3%へと減少、老年人口は12.7%から31.1%へと急増しています（図表1）。平成17年の老年人口の比率（高齢化率）は、全国（20.1%）、道（21.4%）を大きく上回る水準です（図表2）。

図表1 年齢3区分人口の推移



(%)	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳~)
昭和60年	23.0	64.3	12.7
平成2年	19.5	63.7	16.8
平成7年	15.4	63.4	21.2
平成12年	12.4	61.9	25.8
平成17年	10.3	58.6	31.1

図表2 高齢化率の推移・全国・道との比較



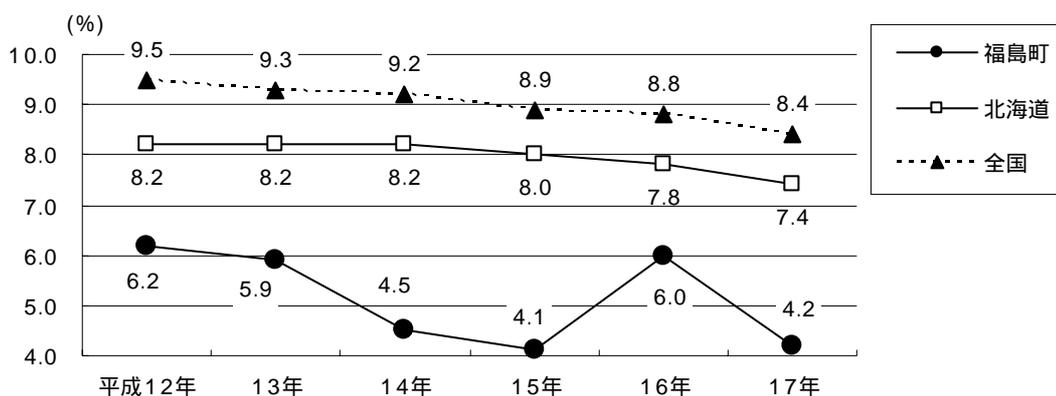
資料：各年国勢調査

## 2 人口動態の推移

当町の高い高齢化率を反映し、出生率（対千人）は4～6%台と全国・道を下回って推移しており（図表3）、平成17年の出生率は4.2%と渡島保健所管内においても第8位と低い水準にあります。

また、同年の死亡率（対千人）は16.3%であり、死亡が出生を上回る状況です（図表4）。

図表3 出生率の推移・全国・道との比較



資料：各年人口動態統計

図表4 人口動態

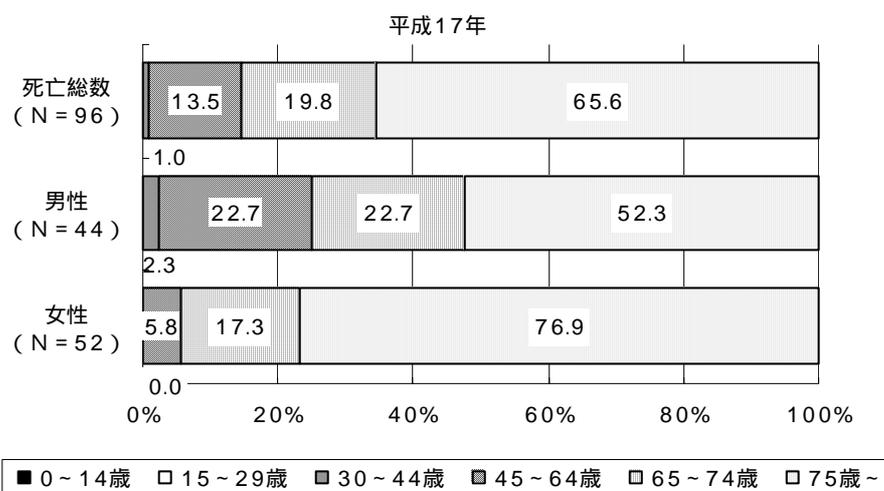
	平成17年 (推計人口)	出生		死亡		自然増加	
		実数	人口 千対	実数	人口 千対	実数	人口 千対
全国	126,204,902	1,062,530	8.4	1,083,796	8.6	21,266	0.2
全道	5,612,068	41,420	7.4	49,982	8.9	8,562	1.5
南渡島第2次保健 医療福祉圏	421,319	2,880	6.8	4,571	10.8	1,691	4.0
渡島保健所	127,711	933	7.3	1,475	11.5	542	4.2
松前町	10,103	52	5.1	148	14.6	96	9.5
福島町	5,886	25	4.2	96	16.3	71	12.1
知内町	5,445	55	10.1	85	15.6	30	5.5
木古内町	5,999	16	2.7	96	16.0	80	13.3
上磯町	37,223	359	9.6	327	8.8	32	0.9
大野町	10,794	71	6.6	104	9.6	33	3.1
七飯町	28,395	174	6.1	309	10.9	135	4.8
鹿部町	4,915	40	8.1	52	10.6	12	2.4
砂原町	4,767	3	0.6	14	2.9	11	2.3
森町	14,184	138	9.7	244	17.2	106	7.5
函館市	293,608	1,947	6.6	3,096	10.5	1,149	3.9

資料：平成17年人口動態統計

### 3 年齢別死亡数

平成 17 年における年齢別の死亡数（総数 96 人）をみると、75 歳以上が 65.6%、65～74 歳が 19.8%、45～64 歳が 13.5%、30～44 歳が 1.0%と続いています。75 歳以上の死亡が女性（52 人）では 76.9%であるのに対し、男性（44 人）では 52.3%にとどまり、45～64 歳と 65～74 歳の死亡数（各 22.7%）の合計が半数近くにのぼります。

図表 5 年齢 6 区分別・性別死亡数



資料：平成 17 年人口動態統計

### 4 主要な死因

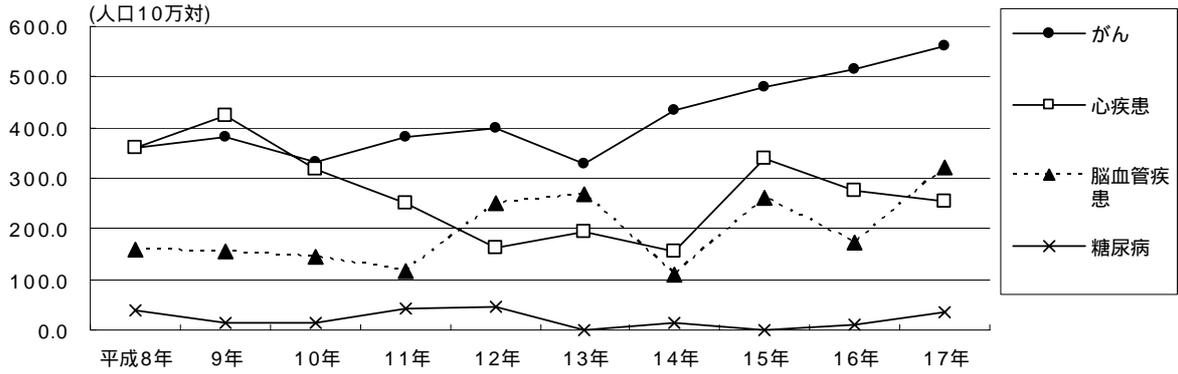
死因の第 1 位は「がん」（悪性新生物）で、増加基調にあります。

「心疾患」は平成 14 年まで一貫して減少していましたが、平成 15 年に急増しました。「脳血管疾患」も増加する傾向がみられ、平成 17 年では心疾患を超えて死因の第 2 位となっています（図表 6）。

平成 17 年の主要死因別死亡率（対 10 万人）を全国・道と比較すると、「がん」が 560.7 と顕著であり、「脳血管疾患」（322.8）、「心疾患」（254.8）も著しい水準にあります（図表 7）。

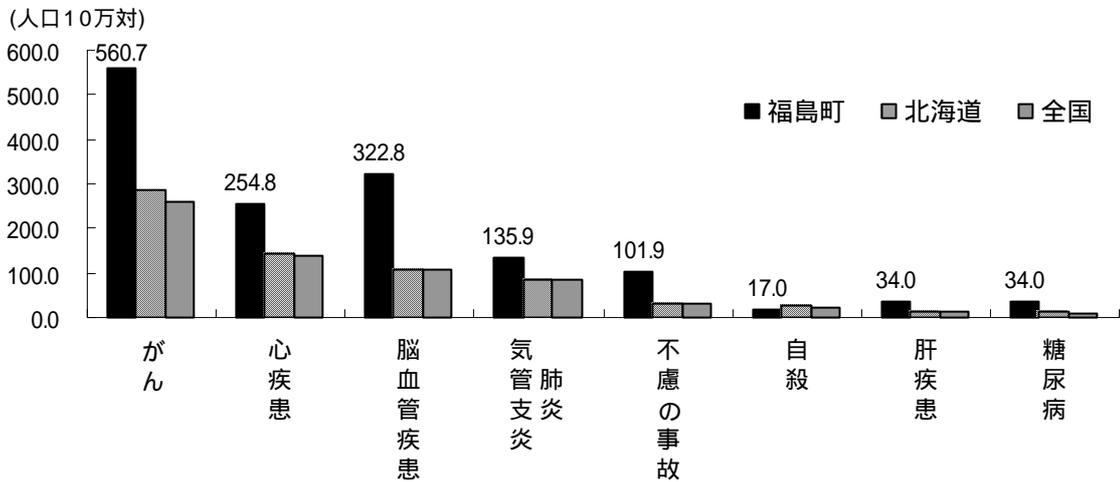
平成 13 年と比較しても増加傾向が強く表れているほか（図表 8）、渡島保健所管内でも際だっています（別表 1-1、1-2）。

図表 6 主要死因別死亡率の推移



資料：各年人口動態統計

図表 7 主要死因別死亡率の全国・道との比較



資料：平成 17 年人口動態統計

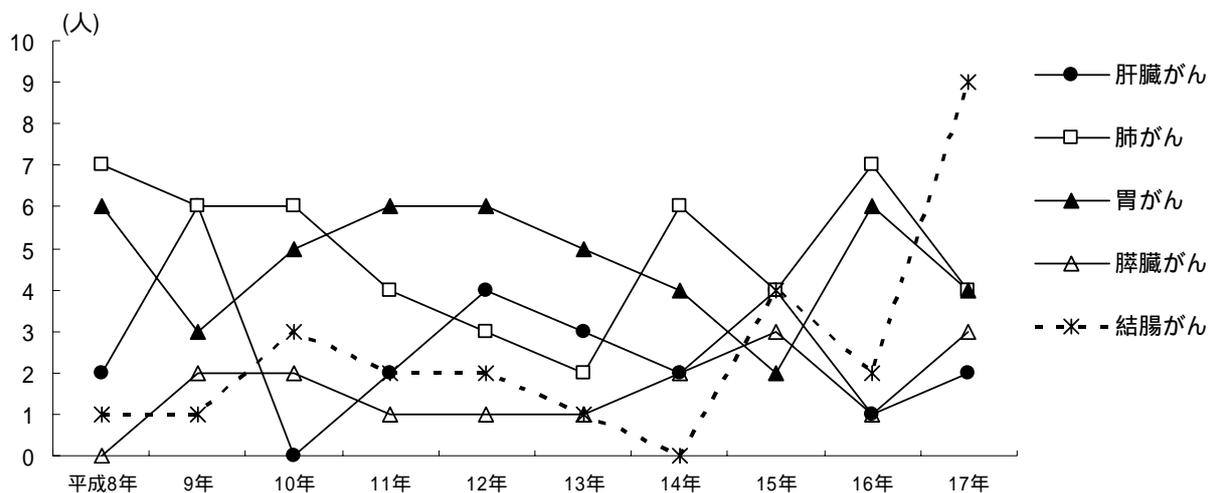
図表 8 主要死因別死亡率の全国・道との比較

(人口 10 万対)	福島町		北海道		全国	
	平成 13 年	平成 17 年	平成 13 年	平成 17 年	平成 13 年	平成 17 年
がん	326.9	560.7	255.1	287.5	238.8	258.3
心疾患	193.2	254.8	123.7	141.4	117.8	137.2
脳血管疾患	267.5	322.8	96.7	105.5	104.7	105.3
肺炎気管支炎	89.2	135.9	65.2	84.3	67.8	85.0
不慮の事故	44.6	101.9	30.3	29.2	31.4	31.6
自殺	29.7	17.0	23.6	27.3	23.3	24.2
肝疾患	29.7	34.0	9.7	11.2	12.6	13.0
糖尿病	0	34.0	11.4	12.7	9.6	10.8

資料：平成 13 年、17 年人口動態統計

「がん」の部位については「肺がん」と「胃がん」が多くなっているほか、平成 17 年は「結腸がん」が急増しました（図表 9）。

図表 9 がん部位別死亡数の推移



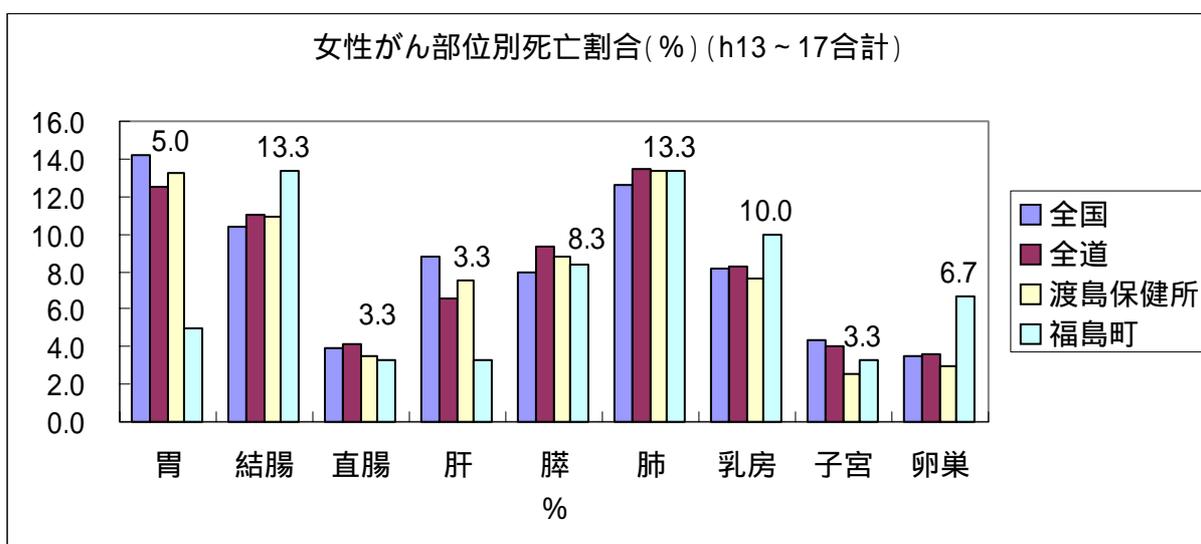
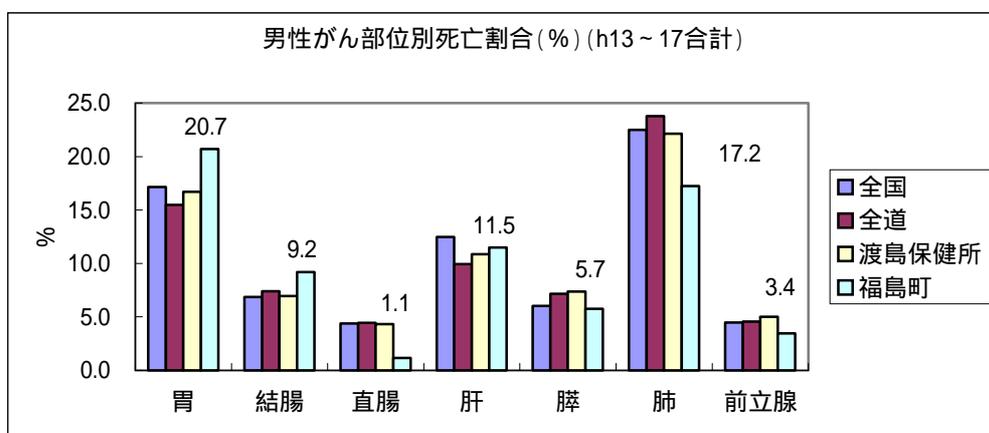
(人)	平成 8 年	平成 9 年	平成 10 年	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年
肝臓がん	2	6	0	2	4	3	2	4	1	2
肺がん	7	6	6	4	3	2	6	4	7	4
胃がん	6	3	5	6	6	5	4	2	6	4
膵臓がん	0	2	2	1	1	1	2	3	1	3
直腸がん	1	2	0	1	0	0	2	0	1	0
乳がん	2	0	0	0	0	2	0	2	1	1
子宮がん	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
結腸がん	1	1	3	2	2	1	0	4	2	9

資料：各年人口動態統計

また、平成 13 年から平成 17 年の「がん」の部位総数については、全国・道また渡島保健所の平均と比較すると「結腸がん」(10.9%)、「乳がん」(4.1%)が著しく平均を上回っています。

なお、男性では「胃がん」(20.7%)、「結腸がん」(9.2%)が、多くなっています。女性では、「乳がん」(10.0%)、「卵巣がん」(6.7%)、「結腸がん」(13.3%)が、多くなっています。

区分		総数	胃	結腸	直腸	肝	膵	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺
総数	全国	1,561,068	16.0	8.3	4.2	11.0	6.8	18.6	3.2	1.7	1.4	2.7
	全道	75,670	14.3	8.8	4.3	8.6	8.0	19.7	3.3	1.6	1.4	2.7
	渡島保健所	2,326	15.4	8.5	4.0	9.6	7.9	18.8	2.9	1.0	1.1	3.1
	福島町	147	14.3	10.9	2.0	8.2	6.8	15.6	4.1	1.4	2.7	2.0
男	全国	942,037	17.2	6.9	4.4	12.5	6.0	22.5	0.0	0.0	0.0	4.5
	全道	45,557	15.5	7.4	4.4	9.9	7.2	23.8	0.0	0.0	0.0	4.6
	渡島保健所	1,436	16.7	7.0	4.3	10.9	7.4	22.1	0.0	0.0	0.0	5.0
	福島町	87	20.7	9.2	1.1	11.5	5.7	17.2	0.0	0.0	0.0	3.4
女	全国	619,031	14.2	10.4	3.9	8.8	7.9	12.7	8.1	4.3	3.5	0.0
	全道	30,113	12.5	11.1	4.1	6.6	9.3	13.5	8.3	4.0	3.6	0.0
	渡島保健所	890	13.3	10.9	3.5	7.5	8.8	13.4	7.6	2.6	2.9	0.0
	福島町	60	5.0	13.3	3.3	3.3	8.3	13.3	10.0	3.3	6.7	0.0



## 5 老人医療費

平成 17 年の 1 件当りの老人医療費は 31,997 円と全道 (33,826 円) を下回りますが、渡島保健所管内では第 4 位となっています。また、1 人当りの金額は 759,206 円と全道 (1,002,082 円) を下回り、渡島保健所管内で最も低い水準にあります。

図表 10 老人医療費の状況 (平成 17 年)

	老人医療給付事業			
	医療費計		1 件当り金額 (円)	1 人当り金額 (円)
	件数	金額		
	B	C (千円)	C / B	C / A
全道	19,561,744	661,688,724	33,826	1,002,082
南渡島第 2 次保健 医療福祉圏	1,739,869	49,337,598	28,357	870,121
渡島保健所	526,032	15,145,003	28,791	833,609
北斗市	166,948	4,679,895	28,032	851,664
松前町	49,801	1,621,161	32,553	859,576
福島町	26,788	857,144	31,997	759,206
知内町	22,417	703,166	31,368	768,487
木古内町	47,692	964,560	20,225	792,572
七飯町	121,771	3,129,277	25,698	782,319
鹿部町	15,160	493,205	32,533	862,247
森町	75,455	2,696,595	35,738	912,862
函館市	1,213,837	34,192,595	28,169	887,336

資料：保健所集計 (速報値)

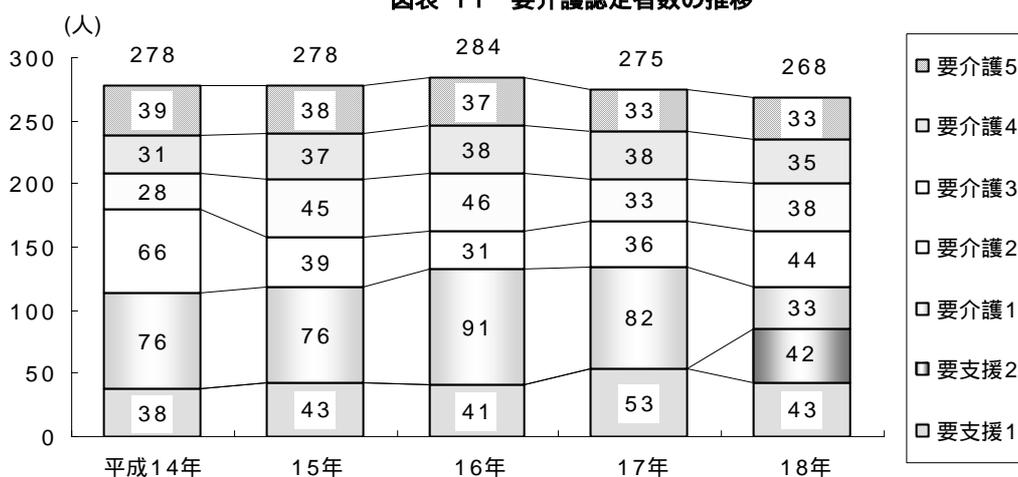
注：金額は、千円未満切り捨てとしているため、合計が必ずしも一致しない

## 6 要介護者数の推移

平成 14 年以降の要介護認定者数は、毎年 200 人台後半を推移しており、軽度の要介護 1 の割合が最も高くなっています。

平成 18 年 4 月 1 日の介護保険制度の改正により、要介護度は 6 区分から 7 区分へと変わりました。これにより、平成 18 年では要介護 2 が 16.4%、要支援 1 が 16.0%、要支援 2 が 15.7% の順で続いています。

図表 11 要介護認定者数の推移



(%)		平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
要支援	要支援 1	13.7	15.5	14.4	19.3	16.0
要介護 1	要支援 2	-	-	-	-	15.7
	要介護 1	27.3	27.3	32.0	29.8	12.3
要介護 2		23.7	14.0	10.9	13.1	16.4
要介護 3		10.1	16.2	16.2	12.0	14.2
要介護 4		11.2	13.3	13.4	13.8	13.1
要介護 5		14.0	13.7	13.0	12.0	12.3

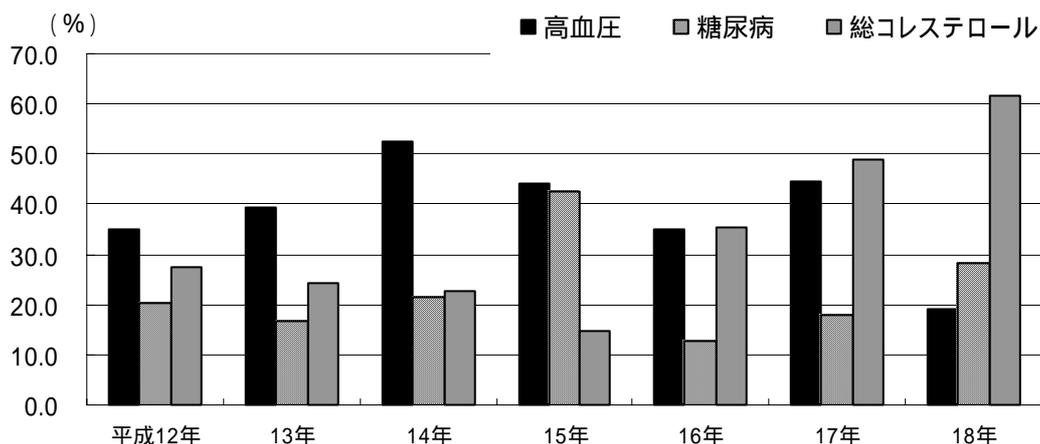


## 7 健康診査・がん検診の状況

### (1) 基本健診

基本健康診査の判定結果の推移をみると、平成15年までは「高血圧」が多くなっていましたが、平成17年以降は「総コレステロール」の割合が高まっています。

図表 12 基本健康診査の判定・指導区分の推移



資料：町民課

### (2) 各種がん検診（平成17年）

「胃がん検診」の受診率は13.8%と渡島保健所平均（15.1%）を下回り、管内で第3位となっています（別表2）。

「肺がん検診」の受診率については12.7%と、渡島保健所平均（19.1%）を下回り、特に男性の受診率の低さが顕著です（別表3）。

「大腸がん検診」の受診率は21.1%で、渡島保健所平均（19.0%）を上回り、管内では第3位となっています。女性の受診率が高い水準にありますが、男性はたいへん低い状況です（別表4）。

「子宮頸部がん」の受診率は11.1%と渡島保健所平均（12.3%）を下回り、「子宮体部がん」の受診率は0.3%と渡島保健所平均（3.9%）を大きく下回る状況です（別表5）。

「乳がん」の受診率は13.1%と渡島保健所平均（11.4%）を上回り、管内第3位です（別表6）。